



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

交付運用報告書

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)

円ヘッジありコース

<愛称> ジェイブリッド

追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）

作成対象期間：2022年6月15日～2022年12月14日

第107期 決算日：2022年7月14日 第108期 決算日：2022年8月15日

第109期 決算日：2022年9月14日 第110期 決算日：2022年10月14日

第111期 決算日：2022年11月14日 第112期 決算日：2022年12月14日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。なお、外貨建資産については、原則として日本円へ為替のフルヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



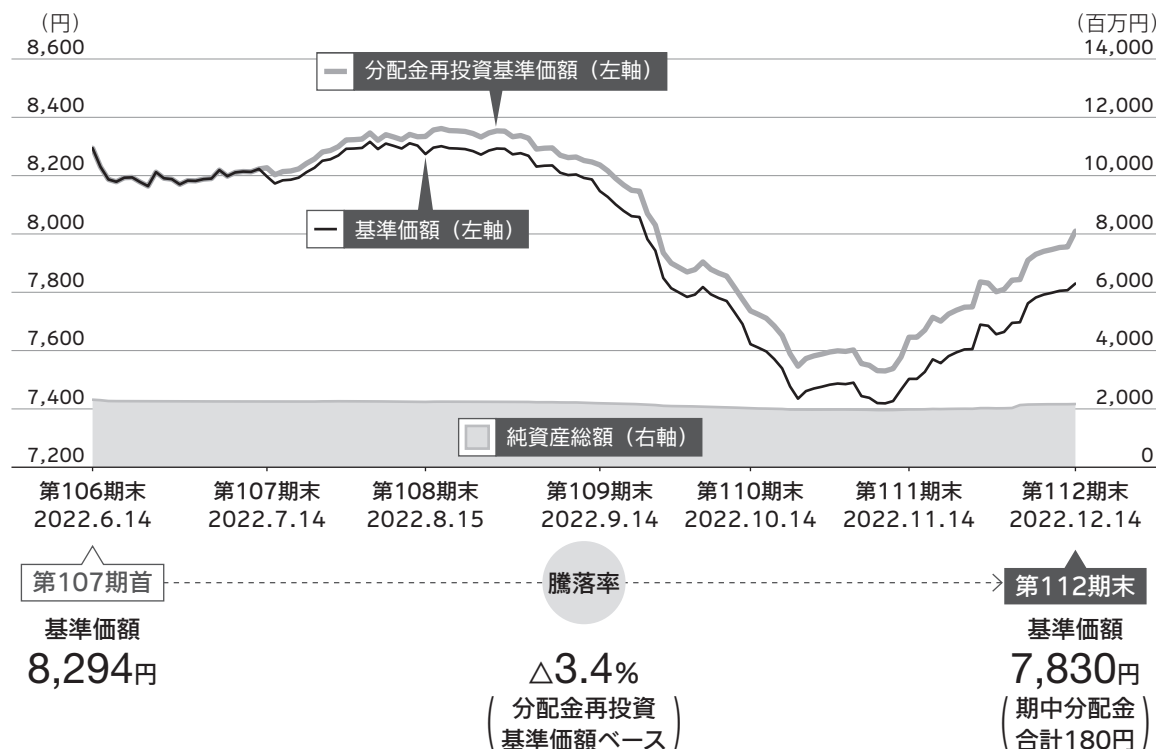
0120-69-5432

第112期末 2022.12.14	
基準価額	7,830円
純資産総額	2,167百万円
第107期～第112期 2022.6.15～2022.12.14	
騰落率※	△3.4%
期中分配金合計	180円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2022年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがマイナスとなったことから、当ファンドの分配金再投資基準価額は下落しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は－0.2%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドの拡大および基準となる米国債利回りの上昇（価格は下落）により、利回りは上昇しました。インカム収入を獲得したほか、為替は米ドル高円安となったものの、利回り上昇の影響を補えず、基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	第107期～第112期 2022.6.15～2022.12.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	37円	0.463%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{各期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,949円です。
(投信会社)	(18)	(0.221)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.221)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.019	$(b) \text{ その他費用} = \frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.010)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	39	0.482	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

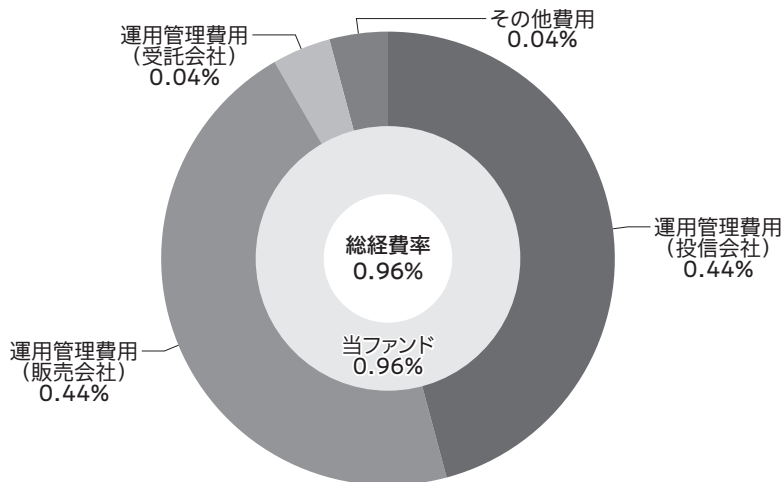
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

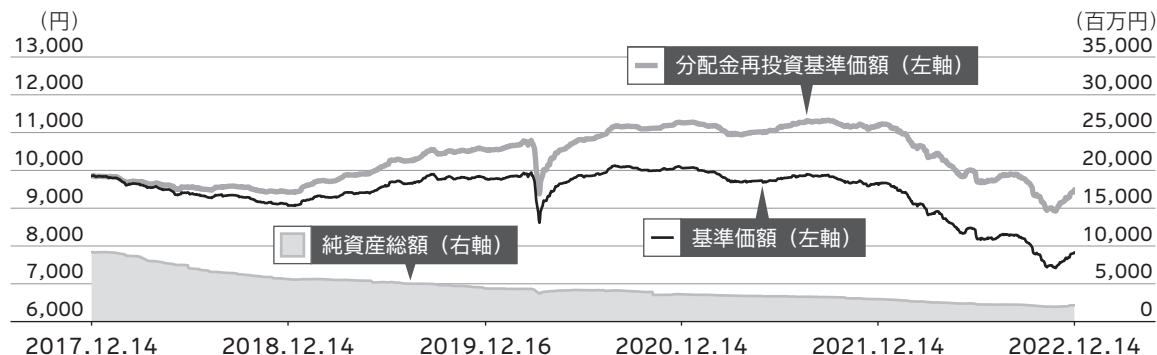
注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2017.12.14～2022.12.14



- 分配金再投資基準価額の推移は、2017年12月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2017.12.14 決算日	2018.12.14 決算日	2019.12.16 決算日	2020.12.14 決算日	2021.12.14 決算日	2022.12.14 決算日
基準価額 (円)	9,851	9,068	9,773	10,070	9,629	7,830
期中分配金合計（税引前）(円)	—	360	360	360	360	360
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.4	11.9	6.9	△ 0.8	△ 15.1
純資産総額 (百万円)	9,176	5,598	4,389	3,611	2,970	2,167

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

2022年10月中旬にかけては、FRB（米連邦準備理事会）による金融引き締め姿勢などを背景に、米国債券利回りは上昇しました。期末にかけては、米国のインフレおよび金融引き締めへの警戒感が後退する中、米国債券利回りは低下（価格は上昇）しましたが、期間全体でみると米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2022年10月中旬にかけてドイツ債券利回りは上昇しました。その後は、米国債券利回りの低下やECBによる利上げ観測の後退などを受けて、ドイツ債券利回りは低下しましたが、期間全体でみるとドイツ債券利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

米欧の利回り上昇やBOE（イングランド銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、英国債券利回りは上昇しました。2022年9月下旬に新政権が発表した減税政策を受けて財政悪化懸念が高まり、利回りの変動性が高まる局面がありましたが、BOEによる国債買い入れや政府の政策修正により収束しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

FRBによる金融引き締めや、米国景気悪化懸念などを背景に投資家のリスクセンチメントが悪化する中、日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは拡大しました。これに加え、基準となる米国債利回りが上昇したことから、同証券の利回りは上昇しました。なお、同証券の各発行体のファンダメンタルズは、健全性を維持しています。

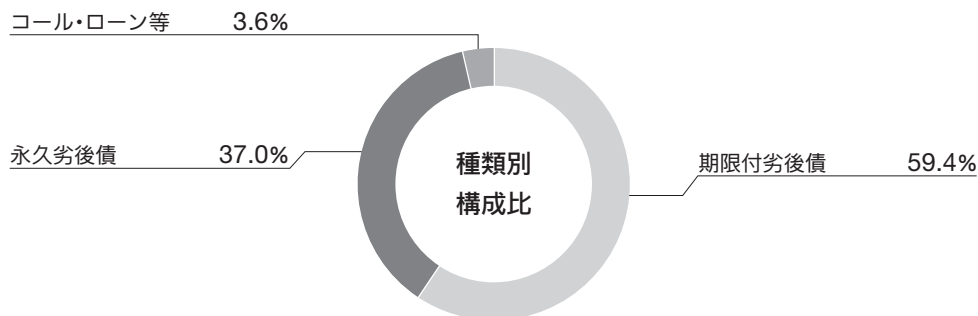
● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。また、為替変動リスクを回避する目的から、為替のフルヘッジを行っています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは10銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第112期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第107期 2022.6.15 } 2022.7.14	第108期 2022.7.15 } 2022.8.15	第109期 2022.8.16 } 2022.9.14	第110期 2022.9.15 } 2022.10.14	第111期 2022.10.15 } 2022.11.14	第112期 2022.11.15 } 2022.12.14
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.365%	0.361%	0.367%	0.392%	0.398%	0.382%
当期の収益	20	25	15	20	19	20
当期の収益以外	10	5	15	10	10	10
翌期繰越分配対象額	726	723	712	703	693	687

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入※を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、ハイブリッド証券の利子または配当収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、銘柄の入れ替えについては、市場環境を見ながら慎重に行うことで、当面はよりディフェンシブな運用に努める方針です。

● お知らせ

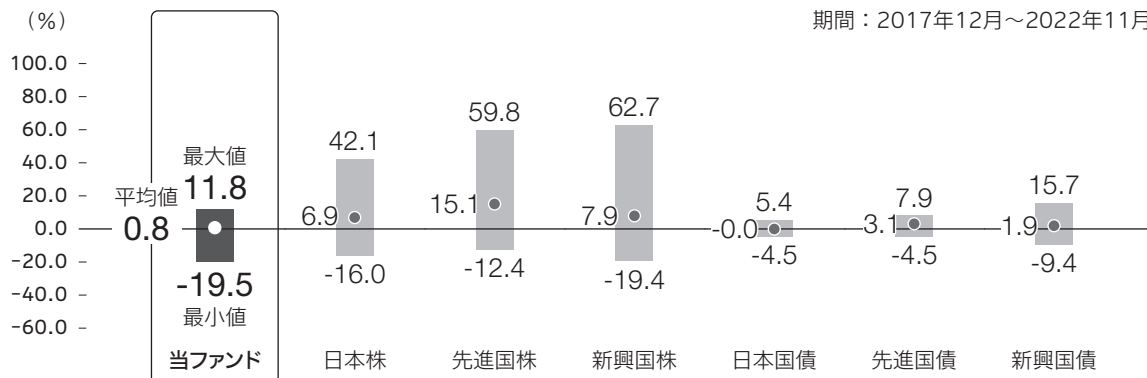
信託期間を5年間延長し、信託期間終了日を2023年6月14日から2028年6月14日に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2022年9月14日）。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2013年8月29日から2028年6月14日
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券  日本金融ハイブリッド証券マザーファンド 日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
運用方法	① 日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。 ② 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより、為替変動リスクを低減する運用を行います。 ③ 原則、毎月14日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2017年12月～2022年11月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は15ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

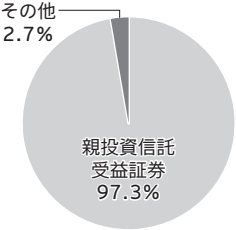
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第112期末 2022.12.14
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	97.3%

注：比率は第112期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注：比率は第112期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第107期末 2022.7.14	第108期末 2022.8.15	第109期末 2022.9.14	第110期末 2022.10.14	第111期末 2022.11.14	第112期末 2022.12.14
純資産総額	2,252,808,826円	2,240,773,593円	2,194,443,986円	2,016,138,007円	1,981,774,036円	2,167,555,929円
受益権総口数	2,748,420,164口	2,708,247,209口	2,693,612,219口	2,645,326,734口	2,641,164,331口	2,768,368,719口
1万口当たり 基準価額	8,197円	8,274円	8,147円	7,622円	7,503円	7,830円

※ 当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は160,321,225円、同解約元本額は185,049,266円です。

当該投資信託の組入資産の内容／純資産等

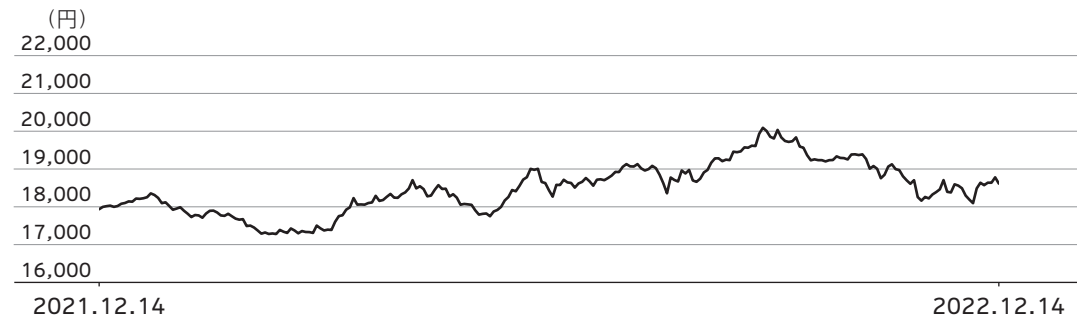
● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。



日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

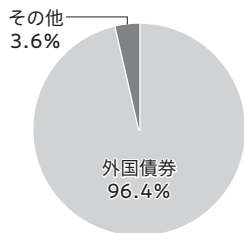
項目	2021.12.15～2022.12.14	
	金額	比率
その他費用	3円	0.016%
(保管費用)	(3)	(0.016)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	3	0.016

期中の平均基準価額は18,506円です。

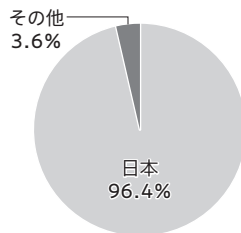
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 NIPPON LIFE 2.75 310121	社債券	アメリカ・ドル	日本	19.0%
2 DAI-ICHI 4.0 260724	社債券	アメリカ・ドル	日本	15.6%
3 MSINS 4.95 290306	社債券	アメリカ・ドル	日本	14.4%
4 SUMITOMO LI 3.375 310415	社債券	アメリカ・ドル	日本	12.7%
5 MEIJIYASUDA 5.2 251020	社債券	アメリカ・ドル	日本	9.1%
6 DAI-ICHI 5.1 241028	社債券	アメリカ・ドル	日本	7.0%
7 SUMITOMO MI 2.142 300923	社債券	アメリカ・ドル	日本	5.9%
8 MIZUHO FG 2.564 310913	社債券	アメリカ・ドル	日本	5.9%
9 SUMITOMO LIFE 4.0 270914	社債券	アメリカ・ドル	日本	3.4%
10 SUMITOMO MI 3.202 290917	社債券	アメリカ・ドル	日本	3.3%
組入銘柄数		10銘柄		

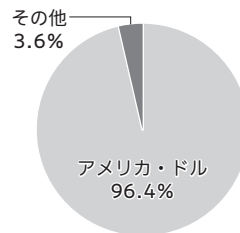
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1．基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2．1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年12月14日）現在のものです。

注4．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

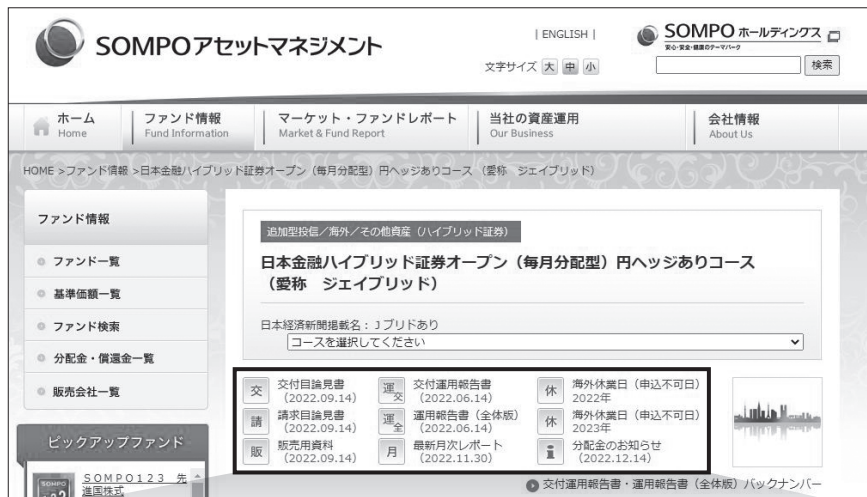
J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型） 円ヘッジありコース

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0938/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日（申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

i

分配金のお知らせ

決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。